

# 令和6年

安平町議会議長

多田 政拓



令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町議会に対しまして、深いご理解と格別のご支援ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和2年1月に国内で最初に感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月にインフルエンザと同様の5類感染症となり、法律などに基づく制限から個人の選択が尊重される取り組みへと移行しました。その結果、これまで自粛されてきた会議や行事など人の集まる機会は増加してコロナ禍以前の状況

に戻り、社会・経済の活性化や回復が期待されました。さらに円安も相まって外国人観光客は増えておりますが、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの戦争による世界情勢の不安や世界的な気候変動などにより、物価・燃料の高騰は続いています。最低賃金は毎年上昇していますが、私たちの生活に大きな影響を与えております。

また、令和5年は過去最高を上回る圧倒的に暑い夏でありました。気候変動によるエネルギー不足が要因と思われるが、熊が市街地に出没し、人に危害を加える事件が発生するなど、予想しない出来事も多くありました。

町内に目を向けますと、1月には成人年齢が引き下げられた後、名称などを変更した「二十歳の集い」が追分公民館で開催され、昔を懐かしみ笑顔溢れる式典となりました。4月には早来学園に新入生が入学して義務教育学校がスタートしました。また、渡邊医院の新病院がオープンし地域住民の健康を支える地域医療体制の充実が図ら

れました。7月に開催された「第15回あびら夏！うまかまつり」は、2日間のフル開催で29,000人が来場するなど多くの方が待ち望んでいたことが伺えました。10月には「道の駅あびらD51ステーション」の来場者が300万人を突破。今後、400万人、500万人、と多くの利用者が増えることを期待いたします。

さて、令和5年2月に千歳市に立地を表明した次世代半導体の生産を目指す「ラピダス」については、立地した千歳市のみならず周辺市町への影響についても期待と懸念があることから、現在熊本県内で建設中の半導体製造工場「TSMC熊本工場」が立地している町と周辺の市町を調査してまいりました。いずれの市町もTSMC熊本工場が立地表明する以前から、人口は右肩上がりに増加している自治体ですが、立地表明後は更に関連企業の進出や従業員の増加がみられ、交通渋滞という課題はあるものの、半導体工場の進出は周辺市町を含めた波及効果があるこ

とを調査し議会懇談会でも報告をさせていただきました。町内にはさまざまな課題とともに、解決に向けた関係機関との調整や、行動を積極的に行ってまいりたいと考えておりますので、今後ともお一人層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びになりますが、今年の干支は「辰」です。万物が上昇し勢いを増しながら成長していく年と言われております。本年が町民の皆様にとりまして希望に満ちた輝かしい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



- 水橋 勉
- 横澤 和子
- 池田 直樹
- 辻 信芳
- 梅田 鋭敏
- 南 美彦
- 阿部 修一
- 秋田 実

安平町教育委員会

- 委員長 種田 直章
- 委員 山根 弘文
- 佐々木 望
- 守屋 竜起
- 廣川 由香里

喪中により新年のご挨拶を控えさせていただきます。

安平町議会

- 議員 高山 正人
- 安平町農業委員会
- 職務代理 谷口 龍治
- 委員 宮内 康博